

## 第2投目：サメ6匹ウロウロ・朝マズメに助けられる

2011.1月某日、2011年初釣り。今年の正月は西高東低の徹底した冬型気圧配置が続き、海は時化てばかり。磯釣りにも行けずストレスは溜まる一方でした・・

年が明け、やっと移動性高気圧が奄美に乗ってくる天気。風は北から北東へ、波は3m 1.5mと魚釣りには絶好の予報です。

午前5時30分に古仁屋港を出港、その日の私の狙いは崎根鼻周辺か木山の子でした。ジャナレ島辺りも正月に数枚クロの釣果があったと聞いていたのでいいかな？と思ったのですが、同船した別の釣りクラブのみなさんが狙っているということで遠慮しました。

意外と東からのウネリがあることを感じながら暗い海の上を進むこと30分、S離れに降りました。この日はケミホタルを持っていかなかったので『つまら～ん・早く夜が明けんか～い』と考えながら、明るくなるまでひたすら少量づつの撒き餌です。

やがて、やっとうっすらウキが見えるようになりました。時間は午前6時40分、この時期の奄美はほんと夜が明けるのが遅い。海を観ると、潮見表どおり上げ潮が素直に流れています。船着

けに撒いた餌と仕掛けはゆっくりと右側を走るの本流に引かれていきイイ感じです。1投目・赤い夜の魚が釣れました。ますますイイ感じです

。そして3投目・仕掛けがなじむと同時にウキがヒュルルル～としもっていき、44cmのクロが2回の突っ込みの後、簡単に浮いてきました。まずは幸先良く1枚ゲットです！

『これは3枚くらい連続でいけるか？』と、ニヤニヤしながら次の1投・・・竿をたたいて、キラめきながら浮いてきたのはイスズミでした。そしてそ

のイスズミの後を追っかけて浮いてきたのはサメでした（泣）

その後は、魚（イスズミ）はキワで反転しまくり、本流の引かれ潮の中で良型サンノジ・アイゴが餌を拾いまくり、キワで黄色のペラがたくさん釣れるといった良さそうな状況が続いたのですが、サメも元気に掛けた魚を追いまくりといった状態でした。午前9時に数えてみるとサメさんは6匹いました（笑）（まあ～全部ネムリザメなのでそんなに大きくないイスズミぐらいならなんとか捕れるんです。ただ良型のクロではそんな強引なやりとりできないですよ～）

結局、朝マズメに助けられてクロを釣ったあとは『ん？今のクロか？』と思える魚影も発見できず・・・その日は1枚止まり。サメ祭りの中、途中で心が折れてしまった釣行となってしまいました（笑）『う～ん。朝一にマジメに釣りしてて良かった・・・』

